

今年こそはオニさんに...

対象: 4歳児さくら組
作成日: 2021年2月3日
作成者: 池下桃代

保育のねらい・節分の鬼について知ったことを話したり遊んでみたりする。



保育の振り返り

・「今年のオニはどんなかな〜？」1月下旬から2月初旬まで、さくら組さんはドキドキ！年少さんでの出来事を思い出してか、怖さを友達同士で倍増させている!?そんな姿がよく見られました。さて、今年のオニはどうでしょう？今、鬼の出てくるアニメが流行していると思うのですが、私たちが住んでいる日本には様々なオニがいるという事を少しでも知って欲しくて、いくつかオニに関する絵本を準備しました。さくら組さんが特に驚いていたのは『おにの神さん: 岩城範枝/文・三瀬夏之介/絵: 福音館書店』です。読み終えて子ども達は「オニってあの優しい神様なん？」と言いながら、頭の中で《怖い》と《善い》の混ぜこぜ事件になっていたようで、少しの間静かになっていました。その後、突如自分達の作ったお面が天井からぶら下がって登降園までオニが見守ってくれること、オニに豆を当てながらお口の中に狙い撃ちするゲームなど怖いだけじゃない遊びや環境を楽しむことができました。さて、本番の日です。一人一人が自分と負けずに挑んでいた表情が忘れられません。「年長さんになっても来るんか〜！」「よしっ！負けんぞ〜！」様々な発言が聞かれた節分の行事でした。お家での節分はどうだったかお話してみたいと思います。(自立心、思考力の芽生え・協同性・豊かな感性と表現・社会生活との関わり)